

事業報告

会社名 広島県果実農業協同組合連合会
 代表者名 代表理事長 川田洋次郎
 開発部署名 販売部 販売課
 担当者 牧本 祐一

(1) 検討会

略

(2) 試作品開発に当たっての調査の実施（ニーズ調査、反応評価等）

略

(3) 調査結果の内容（評価）

・アンケート結果の集計表は別紙添付資料をごらんください。

(4) 試作品の内容

試作品の 製作時期	試作品 の種類	試作品のコンセプト (改良・開発に当たっての新た な視点等)	備考 (試作品の姿)
21年11月 ～ 22年2月	はるか ジュース レモンの 紅茶	<p>はるかは、全国的に生果流通量が少なく、広果連として、4月～5月のカンキツ販売の柱と位置づけ推進している。生産の拡大に合わせ、ストレートジュースを開発し知名度向上と生産者手取向上を目的とする。</p> <p>広島県は、国産レモンにおいて、生産量No.1の位置づけにあり、今後1万トン運動（広島レモンプロジェクト（仮称）を柱に県、果樹研究所、広果連、各JAが、生産対策、販売対策、消費対策、それぞれ目標を持ち、平成25年に生産量1万トンを目指す。）を展開する。広島産レモンは安全安心の観点から、農薬の使用制限を定めている。しかし、生産量の増大や気象災害等から生果流通出来ない加工原料が30%を占めている。この原料を利用し、広島レモンティーを商品化し、更なる（広島レモン®）の知名度の向上と生産者の経営安定をはかる。</p>	 

(5) 試作品に係る原料価格、製造原価、小売価格の目標

<p>☆はるかストレートジュース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はるか果汁代…483 円 ・資材・加工費…680 円 ・合計（1 本あたり）1,163 円 ・最終的には、小売価格 800 円が目標 <p>☆レモンの紅茶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レモン果汁・紅茶…57 円 ・資材・加工費………756 円 ・合計（1 本あたり）813 円 ・最終的には、小売価格 120 円が目標
--

(6) 原料用果実調達のコエ方（果実の品質、購入先、生産コスト低減手法、栽培指導内容、価格変動リスクへの対応方法等）

試作品名	原料用果実の品質	調達方法（生産コスト低減手法等）	備考
☆はるかジュース	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレート果汁ではあるが、思ったよりもパルプ分が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員農協の産地から調達 	
☆レモンの紅茶	<ul style="list-style-type: none"> ・原料として適している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員農協の産地から調達 	

(7) ~ (8)

該当なし

(9) ~ (10)

略